

日本共産党議員団の新しい所属が決まりました。

5月11日から臨時議会が開かれ、議長をはじめ新たな議会構成を決め、12日に閉会しました。

新しい議会3役は

議長 木本 恵造議員（江政クラブ）

副議長 古田富士夫議員（政新クラブ）

議会選出監査委員

宮地友治議員（政新クラブ）

日本共産党議員団の所属

森 ケイ子議員

厚生文教委員会（委員長）

議員政治倫理審査会委員

江南丹羽環境管理組合議会議員

都市計画審議会委員

東 よしき議員

建設産業委員会

議会運営委員会

議会改革検討委員会

議会広報編集委員会

農業委員会

今年もよろしく申し上げます。

議会には虚偽の説明？

—老人ホームの無償譲渡に反対する住民訴訟—

被告側からの新たな資料で重大な事実が判明

4月15日に住民訴訟の第6回公判が開かれました。江南市は老人ホームの建物を無償譲渡する根拠として「有償で譲渡すると、国県からの補助金1億4千万円の返還が求められ、借金の一括返済も必要となるが、無償なら補助金の返還が必要なくなり、借金の返済も分割で済む」として、鑑定評価も行わないまま社会福祉法人サンライフに無償譲渡しました。

ところが4月15日に行われた第6回公判で被告側が裁判所に提出した準備書面によれば、補助金返還額の最高額が1億4506万円余で譲渡金額によって返還額が減少することが明らかになりました。それをもとに原告がシミュレーションを行ったところ下記の例のように2億円で売れば、返還すべき補助金は5300万円余で済み、借金1億4000万円余を返済してもさらにおつりがくることとなります。

このようなことは議会にも明らかにされておらず、今年も3486万円余の借金の返済を行います。

補助金返還算出方法によるシミュレーション

譲渡価格 (a)	返還を要する補助金額 (b)	(a)-(b)の差額 (c)	起債残額 (H19年度末)(d)	(c)-(d)の差額 (e)
A 120,740,000円	32,037,406円	88,702,594円	140,013,540円	51,310,946円
B 200,000,000円	53,068,421円	146,931,579円	140,013,540円	6,918,039円
C 388,187,000円	103,002,355円	285,184,645円	140,013,540円	145,171,105円

* 譲渡金額 × (国庫補助額 ÷ 総事業費) = 返還額

* (国庫補助額 ÷ 総事業費) = (1億8858万円 ÷ 7億1070万5150円) = 26.53%

* 表中 Aは監査委員が「時価相当額」 Cは被告が残存価格を元に「適正価格」とした額

老人ホームの無償譲渡に反対する住民訴訟の次回公判は
6月3日(水)午前10時25分～ 名古屋地方裁判所です。

議会に対して正確な資料も提出せず、無償譲渡先に取り、では市民の財産に対してあまりにもズサンな対応であり、許されないことです。